

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表(公表)

【公表:令和 5年 3月 31日】

事業所名:おひさま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用定員に対して十分な確保を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		適切な配置を行っている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		安全を配慮し、怪我等がないように努めている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日施設内の清掃と消毒を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員間による意見交換、課題把握と改善策の検討を行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		令和4年7月に開業したばかりのため、今後保護者から頂いたご意見などに速やかに対応していきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		年度末に事業所として自己評価を行い結果及び改善内容をホームページにて公開していく
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は実施していないが、連携機関等からコメントをいただき、運営の参考になっている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		コロナウイルス感染症予防で対面での研修には参加できなかったが、ZOOMでの研修に出来るだけ参加し、資質の向上に努めた
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		児童発達支援計画の作成時や見直しのモニタリングにおいて、保護者の願いを聴取し、計画に反映させている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		初年度事業のため、極力検討を重ね入手したアセスメントツールを試行している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		具体的な支援内容の設定に心がけている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿った支援を実施している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事前に職員間で検討・改善し、活動のねらい内容を共有した上で実施している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		事前に職員間で検討・改善し、活動のねらい内容を共有した上で実施している。

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		実施している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援内容や役割分担については確認を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		日々の記録として連絡ノートを活用し、支援終了後には職員間で意見交換を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		連絡ノートに支援内容を記録し、支援の評価、改善職員間の情報共有に繋げている。 今後は、連絡ノートとは別にしていきたい。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	現在、参加できていないので参加できるように検討していく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保護者からの要望や児童の状況に合わせ関係機関と連携した支援を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	現在、医療的ケアが必要な児童の利用はない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	現在、医療的ケアが必要な児童の利用はない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じ随時連絡を取り合い、支援内容の情報共有と総理解を図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じ随時連絡を取り合い、支援内容の情報共有と総理解を図っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		当事業所に関わる内容の時には研修やセミナーに参加し積極的に関わるようにしている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		事業所自身が認定こども園内にあるため、毎日一緒に活動している。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	コロナウイルス感染症予防のため参加を中止したものも多々ある。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		子どものお迎え時の会話を通して、情報共有・共通理解を図っている。
		㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に個別に説明している。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別指導計画は保護者に説明をし、同意を得ている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育て相談は常時受け付け、児童発達管理責任者が対応している。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	令和4年7月に開業したばかりのため、活動はしていない。今後検討していく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情・相談窓口を置いている。様々な相談に丁寧に対応できるように努めている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページやInstagram等で公開している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取扱いに徹底する様努めている。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		配慮している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナウイルス感染症予防で活動支援は実施できていない。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		法人内で各マニュアルを個別に策定している。今後も職員や保護者への周知に努める。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		事業所内の認定こども園の訓練に参加している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に個別に説明している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○		現在食べ物の提供はしていない。また、現在食物アレルギーの児童の利用はない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事故・ヒヤリハットが起きたときは、職員会議等で共有する。発生しないように日頃から環境整備を十分行っている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員打ち合わせ職員研修等で周知徹底している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		職員打ち合わせ職員研修等で周知徹底している。必要に応じて対応していく

○この「事業所における自己評価表結果(公表)は 事業所全体で行った自己評価です。